施工説明書

TOTO

ホッパー継手ユニット

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

品　番	用　　途	排水管接続径
RHE661N	排水ホッパーの新旧交換時などに使用	塩ビ管30用
RHE662N		φ32用

1 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
この施工説明書では、商品を正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示は、次のようになっています。
内容をよく理解して正しく取り付けてください。

表　示	意　　味
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示については次の意味があります。

絵表示	意　味	絵表示	意　味
⃠	一般的な禁止	❗	必ず実行

⚠ 警告

❗ 必ず実行	開梱後、不要になった梱包材は速やかに処分する （段ボールやビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。）

⚠ 注意

⃠ 禁　止	排水ホッパー本体（別売品）取り付け時の傾きは、鉛直に対して全方向10°を越える取り付けはしない（水漏れの原因および凍結のおそれがある場合通水路が閉塞し、接続部より水漏れするおそれがあります。）
❗ 必ず実行	付属の接着剤を使用する （水漏れの原因になるおそれがあります。）
	袋ナットの締め付けは、手で確実に締め付ける （①無理に工具で締め付けると、部品が破損するおそれがあります。 ②締め付けが不十分な場合は、接続部より水漏れするおそれがあります。）
	袋ナットの締め付けは、排水ホッパー本体（別売品）を持って締め付ける （締め付けが不十分な場合は、接続部より水漏れするおそれがあります。）

2 部品の確認

まず次の部品があることを確認ください。

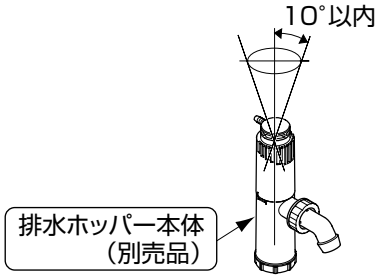
	RHE661N	RHE662N
専用部品	排水ソケット	排水ソケット一式 ナットリング スリップリング パッキン
共通部品	Oリング パッキン 袋ナット 排水継手 排水継手アダプター 接着剤	

3 取付手順

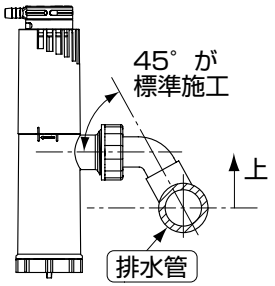
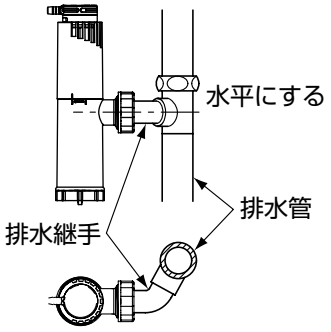
取付時の注意点

(1) 排水ホッパー本体(別売品)の傾き

排水ホッパー本体(別売品)の傾きは鉛直に対して全方向10°を越える取り付けはしないでください。
(水漏れするおそれがあります。)



(2) 排水管への排水ホッパー本体(別売品)の取り付け

壁排水の場合	床排水の場合
	
必ず排水ホッパー本体(別売品)出口中心が、排水管中心より上になるように取り付けてください。	必ず、上図にしたがい排水継手を水平に取り付けてください。

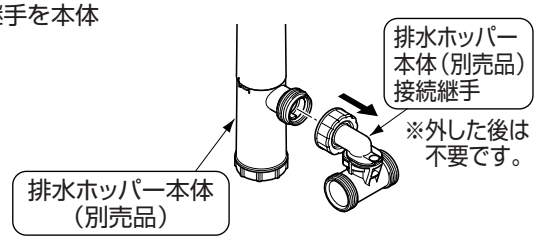
3 取付手順(つづき)

施工手順

(1) 排水ホッパー本体(別売品)の接続継手の取り外し

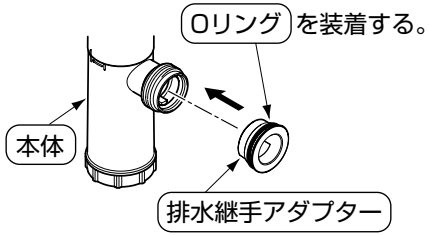
①排水ホッパー本体(別売品)の袋ナットを外す。

②排水ホッパー本体(別売品)の接続継手を本体から引き抜く。

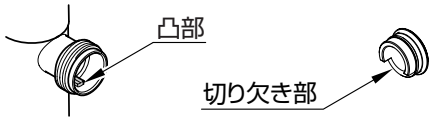


(2) 排水継手の仮り止め

①排水継手アダプターにOリングを入れ、排水ホッパー本体(別売品)に排水継手アダプターを入れる。

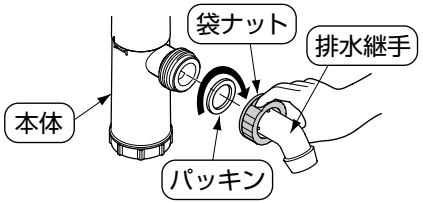


注 意	排水ホッパー本体(別売品)の凸部と排水継手アダプターの切り欠き部を合わせて入れてください。



②排水継手を袋ナットで仮り止めする。

注 意	パッキンの付け忘れに注意してください。



裏面に続く

3 取付手順（つづき）

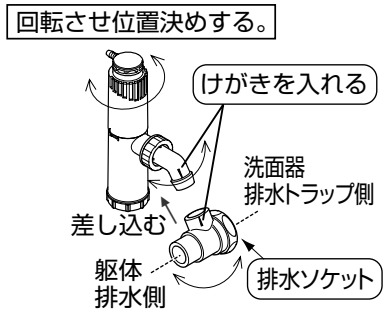
『(3)排水ソケットの取り付け』は RHE662NとRHE661Nの作業が異なります。

RHE662Nの場合

(3)排水ソケットの取り付け

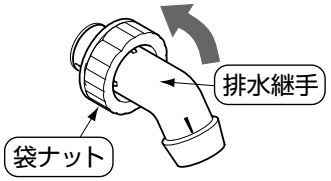
①排水ホッパー本体（別売品）に排水ソケットを差し込む。（接着はしない。）
表面（取付時の注意点）にしたがい、設置場所にて位置合わせしたあと、排水継手と排水ソケットに位置決めのけがきを入れる。

注 意	必ず表面（取付時の注意点）にしたがってけがいてください。



②排水継手部の袋ナットをゆるめ、排水ホッパー本体（別売品）から排水継手を外す。

注 意	パッキンはなくさないように注意してください。



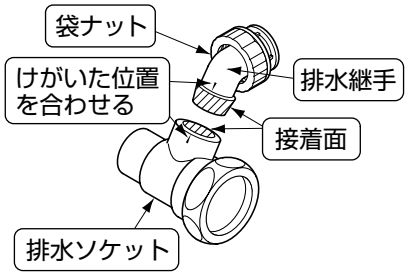
⚠ 注意

付属の接着剤を使用する
（水漏れの原因になるおそれがあります。）

③排水継手を排水ソケットに①でけがいた位置へ接着する。

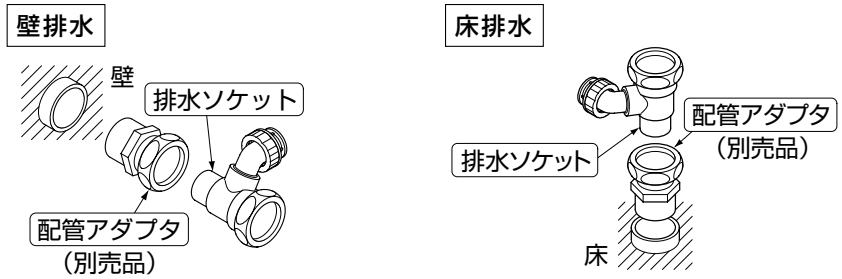
接着手順

1.排水継手・排水ソケットの接着面の水分やごみ、油などの汚れのないようふき取ってください。
2.排水継手と排水ソケットの両方に接着剤（同梱）を、均一に塗布してください。
（図中斜線部が接着部です。）
3.常温で約5～10分間乾燥させたあとに挿入してください。
（乾燥が不十分だと、接着強度が低下します。）
4.挿入後手で十分に押し込んで接着してください。

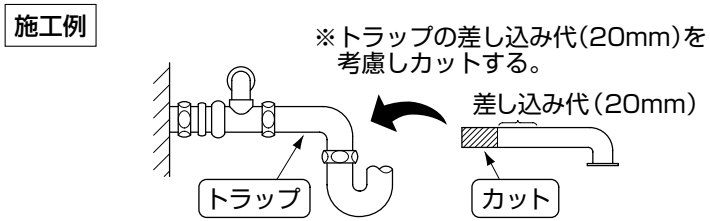


注 意	接着時に必ず袋ナットを挿入しておいてください。

④躯体排水側の排水管に別売品の配管アダプタを取り付け、その配管アダプタに排水ソケットを取り付ける。



⑤排水管を排水ソケットに取り付ける。
（洗面所用）



3 取付手順（つづき）

RHE661Nの場合

(3) 排水ソケットの取り付け

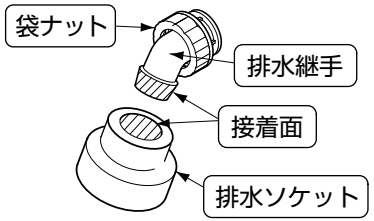
⚠ 注意

付属の接着剤を使用する
（水漏れの原因になるおそれがあります。）

①排水継手を排水ソケットに接着する。

接着手順

1.排水継手・排水ソケットの接着面の水分やごみ、油などの汚れのないようふき取ってください。
2.排水継手と排水ソケットの両方に接着剤（同梱）を、均一に塗布してください。
（図中斜線部が接着部です。）
3.常温で約5～10分間乾燥させたあとに挿入してください。
（乾燥が不十分だと、接着強度が低下します。）
4.挿入後手で十分に押し込んで接着してください。

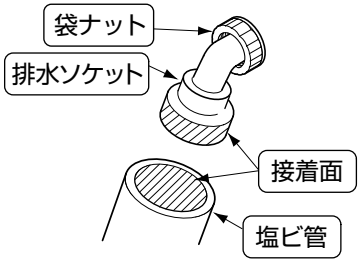


注 意　接着時に必ず袋ナットを挿入しておいてください。

②排水ソケットを塩ビ管30の配管に接着する。

接着手順

1.排水ソケット・塩ビ管30の接着面の水分やごみ、油などの汚れのないようふき取ってください。
2.排水ソケット・塩ビ管30の両方に接着剤（同梱）を、均一に塗布してください。
（図中斜線部が接着部です。）
3.常温で約5～10分間乾燥させたあとに挿入してください。
（乾燥が不十分だと、接着強度が低下します。）

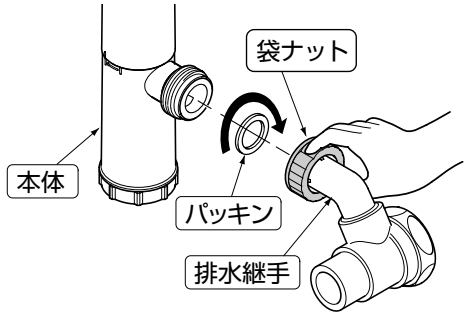


(4) 排水継手の取り付け

⚠ 注意

🚫	排水ホッパー本体（別売品）取り付け時の傾きは、鉛直に対して全方向10°を越える取り付けはしない（水漏れの原因および凍結のおそれがある場合通水路が閉塞し、接続部より水漏れするおそれがあります。）
❗	袋ナットの締め付けは、手で確実に締め付ける （①無理に工具で締め付けると、部品が破損するおそれがあります。 ②締め付けが不十分な場合は、接続部より水漏れするおそれがあります。）
	袋ナットの締め付けは排水ホッパー本体（別売品）を持って締め付ける （締め付けが不十分な場合は、接続部より水漏れするおそれがあります。）

①排水ホッパー本体（別売品）に排水継手を取り付け、袋ナットを手で締め付ける。



注 意
- ●パッキンの付け忘れに注意してください。
- ●電気温水器との接続、水抜き方法、水抜き後の処理は排水ホッパー本体（別売品）の施工説明書をご参照ください。